

## 教員採用試験結果

10月23日、「2020年度岩手県公立学校教員採用候補者選考試験」の結果が発表されました。合格者の県内講師経験者の割合は、高校25人56.8%、特別支援学校17人53.1%、養護教諭10人23.8%、栄養教諭1人50.0%となっています。うち臨時的任用経験者特別選考の合格者は高校17人、特別支援学校10人、養護教諭4人です。今年度はじめて募集が行われた「情報」の合格者は1人でした。「日本史」「地学」は合格者がなく課題が残りました。高教組は全教科での採用や受験年齢制限の撤廃（現在49歳）等を求めています。

実習教諭、寄宿舎指導員は12月6日に発表されます

校種・教科	志願者数	受験者数	1次合格者	採用候補者	倍率
高等学校教諭	381(-38)	360(-39)	127(-1)	44(-11)	8.2(-0.9)
特別支援学校教諭	84(-9)	80(-10)	60(+2)	32(-6)	2.5(+0.1)
養護教諭	97(+7)	89(+7)	64(+9)	42(+2)	2.1(±0)
栄養教諭	15(-2)	14(-3)	6(+1)	2(-1)	7.0(+1.3)

※（ ）内は前年度差異 養護教諭、栄養教諭は小中学校との一括募集

## 障害児学校部学習会

10月19日高校会館において35人の参加で行いました。ここ数年、障害児学校部において進路の課題が多く取り上げられていることから、盛岡市基幹相談支援センターの工藤宏行所長より「進路の現状と課題について～学校に求めるもの」と題し講演いただきました。

最近では80歳の親が施設に入った場合、残された50歳の障害者の子が抱える、80・50問題による相談件



数が増えていること、精神障害者の認知人数が知的障害者を越えたことなど、以前とは違う現状を知ることができました。

進路担当者会議でも話題になっている「就労施設が足りない」ことについては、精神障害者の就労が半数にまで増えていること、建物はあっても職員が人手不足の状態であることなどが話

されました。

また、障害者手帳の取得条件が全国一律となったことで、手帳が取りづらくなってしま

い、級が変更になったり、失効したりするケースも出ていることも知りました。

最後に、私たち学校でできることとして、学校でしかできない、学校だからできる経験を積ませてほしいとの助言をいただきました。近年、子どもっぽいおとなが多いのは、若いうちに多くの経験、体験をしていないことがあげられること、加えてサービス利用により、親子の時間の過ごし方が希薄であることが将来の困り感につながっているということも分かりました。

これは障害児学校部だけではなく、全ての学校で共有しなければならない課題ではないでしょうか。

